

2015年度（2015年1月～12月）連結決算短信

会社名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所属部	東証第一部
決算期	本決算：年1回（12月） 中間決算：四半期毎
問合わせ先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門田 正行

1. 本国における決算発表日： 2016年2月1日（月曜日）

2. 業績

	第4四半期（10月～12月の3ヶ月間）			累計額（1月～12月の12ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,319	百万ドル 5,514	% -3.5	百万ドル 20,872	百万ドル 22,728	% -8.2
税引前当期純利益	百万ドル 1,110	百万ドル 1,075	% 3.4	百万ドル 3,862	百万ドル 4,491	% -14.0
当期純利益	百万ドル 730	百万ドル 703	% 3.9	百万ドル 2,533	百万ドル 2,951	% -14.2
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.72	ドル 1.57	% 9.6	ドル 5.88	ドル 6.54	% -10.1
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.71	ドル 1.57	% 8.9	ドル 5.85	ドル 6.50	% -10.0

配当金の推移		
	当年度（2015年度）	前年度（2014年度）
第1四半期	0.39 ドル	0.37 ドル
第2四半期	0.39	0.37
第3四半期	0.39	0.37
第4四半期	0.41	0.39
合計	1.58 ドル	1.50 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
堀江純一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は2015年度第4四半期の業績を発表
2016年度の1株当たり事業利益及び販売の見通しを確認
2016年度第1四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2016年2月1日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2015年度第4四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の55億ドルから3.5%減少し、53億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の7億300万ドル(希薄化後1株当たり1.57ドル)から7億3,000万ドル(同1.71ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には8,300万ドル(希薄化後1株当たり0.19ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、6,000万ドル(希薄化後1株当たり0.14ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。有価証券取引による税引後資産運用実現益は、実現損とのネットで7,700万ドル(希薄化後1株当たり0.18ドル)でした。当四半期の税引後減損損失は700万ドル(希薄化後1株当たり0.01ドル)と少額でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで4,900万ドル(希薄化後1株当たり0.12ドル)でした。当四半期のその他のデリバティブ及び

ヘッジ活動による税引後資産運用実現益(実現損とのネット)は、3,900 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.09 ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの 200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.01 ドル)の税引後利益が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準 GAAP 外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクを管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいこと、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外した財務業績も評価すべきであると考えています。本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外

した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の 114.44 円から 5.8%円安ドル高の 121.54 円となりました。また、2015 年度通年の平均円／ドル為替レートは、前年度の 105.46 円から 12.8%円安ドル高の 120.99 円となりました。日本社の当四半期及び通年のドルベースでの成長率は、円安ドル高により圧迫されました。

当四半期の事業利益は、前年同期の 5 億 8,100 万ドルから、6 億 6,800 万ドルとなりました。当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、前年同期の 1.29ドルに比べて 20.9%増加し、1.56ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は、0.05ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後 1 株当たり事業利益は、24.8%増加しました。

2015 年度通年の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年度の 227 億ドルから 8.2%減少し 209 億ドルとなりました。2015 年度通年の当期純利益は前年度の 30 億ドルから 25 億ドルに、希薄化後 1 株当たり当期純利益は 6.50ドルから 5.85ドルとなりました。2015 年度の当期純利益は、第 2 四半期に開示した社債の繰上償還による影響を受けています。一方、2015 年度通年の事業利益は、前年度の 28 億ドルから 27 億ドルに、希薄化後 1 株当たり事業利益は前年度の 6.16ドルと同額の 6.16ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後 1 株当たりのマイナスの影響 0.46ドルを除くと、2015 年度の希薄化後 1株当たり事業利益は 7.5%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2015 年 9 月 30 日現在の 1,049 億ドルから 2015 年 12 月 31 日現在では 1,059 億ドルとなりました。

当四半期、当社は 2 億 3,400 万ドル相当 (380 万株) の自己株式を取得しました。2015 年度通年で、当社は 13 億ドル相当 (2,120 万株) の自己株式を取得しました。2015 年 12 月 31 日現在、当社の自己株式取得承認枠は、4,840 万株となっています。

株主持分は、2015年9月30日現在が173億ドル(1株当たり40.36ドル)であったのに対し、2015年12月31日現在では174億ドル(1株当たり40.96ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2015年9月30日現在が32億ドルであったのに対して、2015年12月31日現在では30億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で16.9%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.8%(円安の影響を除くと19.4%)でした。また、円安の影響を除き、平均株主持分に対する事業ベースの利益率は通年では20.4%でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、部分的には当四半期より前に実行された再保険取引の影響を反映し、保険料収入(ネット)は0.3%増加しました。再保険の影響を除くと、保険料収入(ネット)は1.6%増加しました。投資収益(ネット)は1.0%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約51%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。前年同期は投資収益の48%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期比0.4%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の20.1%から22.3%へと上昇しました。これは、前年同期比経費水準が低かったことに加えて、当社にとって有利な給付水準が継続したことを反映しています。円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは11.7%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、8.9%の増加でした。一方、2015年度通年の円ベースの保険料収入は0.4%の減少、投資収益(ネット)は4.8%の増加、収益合計は0.5%の増加、税引前事業利益は5.3%の増加でした。また、為替変動の影響を除くと、税引前事業利益は0.4%の増加でした。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、著しい円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は5.6%減少し、30億ドルとなりました。投資

収益(ネット)は4.9%減少し6億1,200万ドルとなりました。収益合計は5.5%減少し、36億ドルに、税引前事業利益は5.2%増加し8億1,000万ドルとなりました。2015年度通年の保険料収入は、前年度比13.1%減少し120億ドルとなりました。投資収益(ネット)は8.5%減少し24億ドルとなりました。収益合計は12.3%減少し145億ドルに、税引前事業利益は前年度比8.2%減少し、32億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は5.1%減の317億円(2億6,000万ドル)となりました。前年同期との比較が困難であるため、当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、12.7%減少しました。当四半期のWAYSと学資保険を含む第一分野商品の販売は、15.9%増加しました。

2015年度通年の新契約年換算保険料は5.5%増加して1,209億円(9億9,700万ドル)となりました。第三分野商品の販売は、13.4%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は2.3%増加し、13億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.6%増加して1億7,100万ドルとなりました。収益合計は2.7%増の15億ドルとなりました。保険金給付金比率の改善が継続していることを反映し、税引前事業利益率は、前年同期の13.7%から15.8%となりました。当四半期の税引前事業利益は18.3%増の2億3,700万ドルとなりました。2015年度通年の収益合計は3.0%増の60億ドルに、保険料収入は2.6%増の53億ドルとなりました。投資収益(ネット)は5.0%増加して6億7,800万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比2.7%増の11億ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は9.6%増加し、4億9,700万ドルとなりました。2015年度通年の新契約年換算保険料は3.7%増加して15億ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2016年度第1四半期支払いの四半期現金配当を1株当たり0.41ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2016年2月16日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2016年3月1日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期及び2015年度通年の当社の財務業績については、大変喜ばしく思っています。当四半期は非常に強いものとなり、為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益の成長目標の上限を超える実績を挙げて年度を終えました。」

「当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期、円ベースで際立った財務業績を挙げました。さらに、2015年度における驚異的な第三分野商品の販売は、当初の予想を大幅に上回り、全ての販売チャンネルにわたる販売増により、前年度比13.4%増の成長を達成することとなりました。この成果は、第三分野において過去10年間の最高となる年間販売成長率です。がん保険の販売は、通年で前年度比40.6%増と目覚ましい実績を挙げ、最大の貢献をしました。販売チャンネルについては、当社の伝統的な代理店がこれまでも、そしてこれからも当社の成功の鍵となっています。私はまた、日本郵政とのパートナーシップを年度を通して強化し続けて来たことを喜ばしく思っています。2015年度、当社のがん保険を販売する郵便局数は2万を超え、取扱い局の拡大を完了しました。昨年12月のアウトルック・コールにおいてお示したように、2015年度の極めて強固な販売実績を受け、2016年度の第三分野商品の販売は前年度比で一桁台半ばのパーセンテージの減少になるものと予想しています。引き続き当社は、長期の複利成長年率は4%から6%の間となるものと確信しています。」

「財務業績の観点では、米国社も当四半期及び2015年度通年で良好な実績を挙げました。当四半期、米国社の新契約年換算保険料が4億9,600万ドルと過去最高に

なったことを私は大変喜ばしく思います。当四半期の販売成長率に置き換えると9.6%増ということになり、2015年度通年の販売を3.7%増加させることとなりました。専属募集人及びブローカー向けに当社がこの18ヶ月間実行してきた経営インフラの改編が、今後の長期的な成長機会の礎を築いていることに、私は手ごたえを感じています。昨年12月のアウトルック・コールにおいてお話ししたように、販売は第4四半期に向けて増加する見込みです。2016年度の米国社の販売成長率は、3%から5%の範囲となり、長期の複利成長年率は、任意加入保険市場の成長率である5%又はこれを上回るものと確信しています。」

「資本力についての当社の評価に基づき、2015年度は約2,590億円の利益送金を行いました。この実績は通年の予想を上回るものでしたが、部分的には、3月に実行した再保険取引によって発生した収益によりもたらされたものです。以前にもお話ししましたとおり、他に有力な選択肢がない場合、現金配当の増加と自己株式の取得が、資本の活用における最も魅力的な手段であると確信しています。2016年度においては、当社は引き続き14億ドル相当の自己株式の取得を予定しており、この内大きな部分については上半期に前倒しで実行する見込みです。また前四半期にお示したことですが、昨年第4四半期の現金配当を5.1%増加させ、33年間連続の増配を達成しました。当社の目標は、一般的には為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益の増加率に沿って配当の増加を図ることです。」

「2016年度を展望し、当社の目標が昨年12月のアウトルック・コールでご説明した内容と変わっていないことを申し上げます。当社の目標は、2015年度の平均為替レートである1ドル120.99円の下で、6.17ドルから6.41ドルの安定的な希薄化後1株当たり事業利益を計上することです。ここで思い起こしていただきたいのは、変化の激しい金融市場と著しく低い水準にある金利環境の中で、キャッシュ・フローを魅力的な利回りで安全に運用することは困難であるということです。また、2016年度も、保険金給付金比率は日米ともに有利な傾向にあり続けるものと見ています。常にそうしてきたことですが、当社は、一株当たり利益目標の達成に全力で取り組むとともに、ご契約者への約束を着実に果たすべく、努力をしております。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを1営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入しています。当社の個人保険及び団体保険は、世界で5,000万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は9年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の1社に選出しています。また、2015年、『フォーチュン』誌は当社を17年連続で「全米で最も働きがいのある企業100社」に選出するとともに、14回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の1社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野のイノベーション部門で第1位にランクしました。Aflac Incorporatedはフォーチュン500社に入っており、ティッカー・シンボルAFLとしてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料(FAB Supplement)は、aflac.com「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の模様を2016年2月2日(火曜日)午前9時00分(米国東部標準時間)にaflac.com「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
収益合計	5,319	5,514	-3.5%
保険金給付金	2,930	3,069	-4.5%
新契約費及び事業費合計	1,279	1,370	-6.8%
税引前当期純利益	1,110	1,075	3.4%
法人税等	380	372	
当期純利益	730	703	3.9%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.72	1.57	9.6%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.71	1.57	8.9%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	425,056	446,370	-4.8%
希薄化後	427,556	449,030	-4.8%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.41	0.39	5.1%

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した12ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
収益合計	20,872	22,728	-8.2%
保険金給付金	11,746	12,937	-9.2%
新契約費及び事業費合計	5,264	5,300	-0.7%
税引前当期純利益	3,862	4,491	-14.0%
法人税等	1,329	1,540	
当期純利益	2,533	2,951	-14.2%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.88	6.54	-10.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.85	6.50	-10.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	430,654	451,204	-4.6%
希薄化後	433,172	454,000	-4.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.58	1.50	5.3%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

12月31日現在:

	2015年	2014年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	105,897	107,341	-1.3%
繰延新契約費	8,511	8,273	2.9%
その他の資産	3,888	4,153	-6.4%
資産合計	118,296	119,767	-1.2%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	87,631	83,933	4.4%
社債等	5,011	5,282	-5.1%
その他の負債	8,272	12,205	-32.2%
株主持分	17,382	18,347	-5.3%
負債および株主持分合計	118,296	119,767	-1.2%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	424,380	442,445	-4.1%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した3ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
事業利益	668	581	15.1%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	70	28	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-49	-1	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	39	56	
その他及び非経常的(損)益	2	39	
当期純利益	730	703	3.9%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.56	1.29	20.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.17	0.07	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.12	-	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.09	0.12	
その他及び非経常的(損)益	0.01	0.09	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.71	1.57	8.9%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

12月31日に終了した12ヶ月間:

	2015年	2014年	増減率
事業利益	2,670	2,797	-4.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	97	119	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-88	-24	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	27	16	
その他及び非経常的(損)益	-173	43	
当期純利益	2,533	2,951	-14.2%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	6.16	6.16	-
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.23	0.26	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.20	-0.05	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	0.06	0.03	
その他及び非経常的(損)益	-0.40	0.10	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	5.85	6.50	-10.0%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2015年12月31日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	-2.1%	2.4%
投資収益(ネット)	-2.0%	0.4%
保険金給付金および事業費合計	-5.7%	-1.5%
事業利益	15.1%	19.1%
希薄化後1株当たり事業利益	20.9%	24.8%

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートをを用いて算出した。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2015年12月31日に終了した12ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	-7.9%	1.6%
投資収益(ネット)	-5.6%	-0.1%
保険金給付金および事業費合計	-8.2%	1.1%
事業利益	-4.5%	2.5%
希薄化後1株当たり事業利益	-	7.5

¹数値は本書において定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートをを用いて算出した。

2016年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2015年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
110	\$6.49 - \$6.73	5.4% - 9.3%	\$ 0.32
115	\$6.34 - \$6.58	2.9% - 6.8%	\$ 0.17
120.99*	\$6.17 - \$6.41	0.2% - 4.1%	\$ -
125	\$6.07 - \$6.31	-1.5% - 2.4%	\$ -0.10
130	\$5.95 - \$6.19	-3.4% - 0.5%	\$ -0.22

*実際の2015年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー

- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・その他の金融機関の信用力の低下
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・不十分なリスク管理方針及び手続
- ・法律及び政府当局による規制の変化
- ・優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・患者のプライバシー及び情報セキュリティーに対する制約の不順守
- ・訴訟の内容及び結果
- ・主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含むが必ずしもこれらに限定されない大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・保険業界における継続的な変化
- ・当社の評判に悪影響を及ぼす出来事
- ・年金及びその他退職給付プランに係る費用の増加
- ・内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Fourth Quarter Results,
Affirms 2016 Operating EPS and Sales Outlook,
Declares First Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. – February 1, 2016 – Aflac Incorporated today reported its fourth quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues decreased 3.5% to \$5.3 billion during the fourth quarter of 2015, compared with \$5.5 billion in the fourth quarter of 2014. Net earnings were \$730 million, or \$1.71 per diluted share, compared with \$703 million, or \$1.57 per share, a year ago.

Net earnings in the fourth quarter of 2015 included after-tax net realized investment gains of \$60 million, or \$.14 per diluted share, compared with net after-tax gains of \$83 million, or \$.19 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains net of losses from securities transactions in the quarter were \$77 million, or \$.18 per diluted share. After-tax realized investment losses from impairments in the quarter were immaterial at \$7 million, or \$.01 per diluted share. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis were \$49 million in the quarter, or \$.12 per diluted share. Realized after-tax net investment gains from other derivative and hedging activities in the quarter were \$39 million, or \$.09 per diluted share. In addition, net earnings included an after-tax gain of \$2 million, or \$.01 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in the company's investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the fourth quarter of 2015 was 121.54, or 5.8% weaker than the average rate of 114.44 in the fourth quarter of 2014. For the full year, the average exchange rate was 120.99, or 12.8% weaker than the rate of 105.46 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms

for the fourth quarter and the full year were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the fourth quarter were \$668 million, compared with \$581 million in the fourth quarter of 2014. Operating earnings per diluted share increased 20.9% to \$1.56 in the quarter, compared with \$1.29 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.05 for the fourth quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 24.8%.

Results for the full year of 2015 were also suppressed by the weaker yen. Total revenues were down 8.2% to \$20.9 billion, compared with \$22.7 billion for the full year of 2014. Net earnings for the full year of 2015 were \$2.5 billion, or \$5.85 per diluted share, compared with \$3.0 billion, or \$6.50 per diluted share, a year ago. Net earnings for 2015 were impacted by the early extinguishment of debt previously disclosed in the second quarter. Operating earnings for the full year of 2015 were \$2.7 billion, or \$6.16 per diluted share, compared with \$2.8 billion, or \$6.16 per diluted share, in 2014. Excluding the negative impact of \$.46 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share rose 7.5% for the full year of 2015.

Total investments and cash at the end of December 2015 were \$105.9 billion, compared with \$104.9 billion at September 30, 2015.

In the fourth quarter, Aflac repurchased \$234 million, or 3.8 million of its common shares. For the full year, the company purchased \$1.3 billion, or 21.2 million shares. At the end of December, the company had 48.4 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$17.4 billion, or \$40.96 per share, at December 31, 2015, compared with \$17.3 billion, or \$40.36 per share, at September 30, 2015. Shareholders' equity at the end of the fourth quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$3.0 billion, compared with a net unrealized gain of \$3.2 billion at the end of September 2015. The annualized return on average shareholders' equity in the fourth quarter was 16.9%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 18.8% for the fourth quarter, or 19.4%, excluding the impact of the yen. For the full year, operating return on average shareholders' equity, excluding currency, was 20.4%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's net premium income increased .3% in the fourth quarter, reflecting in part the impact of previously executed reinsurance agreements. Excluding the impact of reinsurance, net premium income increased 1.6%. Net investment income increased 1.0%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 51% of Aflac Japan's fourth quarter investment income was dollar-denominated, compared with 48% a year ago. Total revenues were up .4% in the fourth quarter. The pretax operating profit margin increased in the fourth quarter to 22.3% from 20.1% in the prior year, reflecting continued favorable claims experience in addition to lower expenses in the quarter compared to a year ago. Pretax operating earnings in yen increased 11.7% on a reported basis and increased 8.9% on a currency-neutral basis. For the full year, premium income in yen decreased .4%, and net investment income rose 4.8%. Total revenues in yen were up .5%, and pretax operating earnings in yen grew 5.3%. On a currency-neutral basis, pretax operating earnings grew .4%.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the fourth quarter were suppressed as a result of the significantly weaker yen/dollar exchange rate. Premium income decreased 5.6% to \$3.0 billion in the fourth quarter. Net investment income decreased 4.9% to \$612 million. Total revenues decreased 5.5% to \$3.6 billion. Pretax operating earnings increased 5.2% to \$810 million. For the full year, premium income was \$12.0 billion, or 13.1% lower than a year ago. Net investment income decreased 8.5% to \$2.4 billion. Total revenues were down 12.3% to \$14.5 billion. Pretax operating earnings were \$3.2 billion, or 8.2% lower than a year ago.

In the fourth quarter, total new annualized premium sales decreased 5.1% to ¥31.7 billion, or \$260 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, decreased 12.7% in the quarter due to difficult comparisons. Total first sector sales, which include products such as WAYS and child endowment, increased 15.9% in the quarter.

For the full year, new annualized premium sales were up 5.5% to ¥120.9 billion, or \$997 million. Third sector sales increased 13.4% for the full year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 2.3% to \$1.3 billion in the fourth quarter. Net investment income was up 5.6% to \$171 million. Total revenues increased 2.7% to \$1.5 billion. Reflecting continued improvement in the benefit ratio, the pretax operating profit margin was 15.8%, compared with 13.7% a year ago. Pretax operating earnings were \$237 million, an increase of 18.3% for the quarter. For the full year, total revenues were up 3.0% to \$6.0 billion and premium income rose 2.6% to \$5.3 billion. Net investment income increased 5.0% to \$678 million. Pretax operating earnings were \$1.1 billion, 2.7% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 9.6% in the quarter to \$497 million. For the full year, total new sales increased 3.7% to \$1.5 billion.

DIVIDEND

The board of directors declared the first quarter cash dividend. The first quarter dividend of \$.41 per share is payable on March 1, 2016, to shareholders of record at the close of business on February 16, 2016.

OUTLOOK

Commenting on the company's results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are very pleased with Aflac's financial performance for both the quarter and year. Aflac had a very strong quarter, and we finished the year above the top of the range for operating earnings per diluted share, excluding the impact of foreign currency.

"Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated outstanding financial results in yen terms for the quarter. Additionally, the tremendous third sector sales we generated in 2015 were much better than our original expectation, generating impressive production across all channels for a 13.4% increase. This result was the highest annual third sector growth rate in the past 10 years. Cancer insurance sales, the largest contributor to this result, were up a remarkable 40.6% for the year. On the distribution side, our traditional agencies have been, and remain, key to our success. I'm also pleased that we continued to build on our partnership with Japan Post throughout the year, completing the expansion of the number of postal outlets and their agents selling our cancer products to more than 20,000 outlets during 2015. As we indicated during our December outlook call, we anticipate that for 2016, sales of third sector products will be down mid-single digits following very robust production results in 2015. We continue to believe the long-term compound annual growth rate will be in the range of 4% to 6%.

"From a financial perspective, Aflac U.S. also performed well for the quarter and full year. I am very pleased with our fourth quarter new annualized premium sales, which hit an all-time record with the premium amount of \$496 million. This equated to a growth rate of 9.6% for the quarter, which helped drive annual sales results to increase 3.7% for the year. I'm encouraged that the changes we made to our career and broker management infrastructure over the last 18 months are laying the foundation for expanded long-term growth opportunities. As we mentioned in our December outlook call, we anticipate that sales will be increasingly skewed toward the fourth quarter, and we believe Aflac U.S. new annualized premium growth in 2016 will be in the range of 3% to 5%, with a long-term compound annual growth rate at or above the voluntary market growth rate of 5%.

"Based on our assessment of the company's capital strength, we repatriated approximately ¥259 billion in 2015, which exceeded our expectation for the year and was driven in part by proceeds from the

reinsurance transaction executed in March. As we have communicated, absent compelling alternatives, we believe that growing the cash dividend and repurchasing our shares are the most attractive means for deploying capital. We continue to anticipate that we'll repurchase \$1.4 billion of our shares in 2016, largely front-end loaded in the first half of the year. As we indicated last quarter, we also increased the cash dividend 5.1%, effective with the fourth quarter, marking the 33rd consecutive year in which we've increased the cash dividend. Our objective is to grow the dividend at a rate generally in line with the increase in operating earnings per diluted share before the impact of foreign currency translation.

"As we look to 2016, our guidance remains unchanged since our December outlook call. Our objective is to produce stable operating earnings per diluted share of \$6.17 to \$6.41, assuming the average exchange rate in 2015 of 120.99 yen to the dollar. I would remind you that with volatile financial markets and interest rates at significantly depressed levels, it is difficult to safely invest cash flows at attractive yields. Additionally, 2016 benefit ratios in both the U.S. and Japan anticipate continued favorable experience. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also ensuring we deliver on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures one in four households. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For nine consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2015, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 17th consecutive year. Also, in 2015, Fortune magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 14th time, ranking the company No. 1 in innovation for the insurance, life and health category. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EST) on Tuesday, February 2, 2016.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,319	\$ 5,514	(3.5)%
Benefits and claims	2,930	3,069	(4.5)
Total acquisition and operating expenses	1,279	1,370	(6.8)
Earnings before income taxes	1,110	1,075	3.4
Income taxes	380	372	
Net earnings	\$ 730	\$ 703	3.9%
Net earnings per share – basic	\$ 1.72	\$ 1.57	9.6%
Net earnings per share – diluted	1.71	1.57	8.9
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	425,056	446,370	(4.8)%
Diluted	427,556	449,030	(4.8)
Dividends paid per share	\$.41	\$.39	5.1 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 20,872	\$22,728	(8.2)%
Benefits and claims	11,746	12,937	(9.2)
Total acquisition and operating expenses	5,264	5,300	(.7)
Earnings before income taxes	3,862	4,491	(14.0)
Income taxes	1,329	1,540	
Net earnings	\$ 2,533	\$ 2,951	(14.2)%
Net earnings per share – basic	\$ 5.88	\$ 6.54	(10.1)%
Net earnings per share – diluted	5.85	6.50	(10.0)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	430,654	451,204	(4.6)%
Diluted	433,172	454,000	(4.6)
Dividends paid per share	\$ 1.58	\$ 1.50	5.3 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

DECEMBER 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$105,897	\$ 107,341	(1.3)%
Deferred policy acquisition costs	8,511	8,273	2.9
Other assets	3,888	4,153	(6.4)
Total assets	\$118,296	\$ 119,767	(1.2)%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 87,631	\$ 83,933	4.4 %
Notes payable	5,011	5,282	(5.1)
Other liabilities	8,272	12,205	(32.2)
Shareholders' equity	17,382	18,347	(5.3)
Total liabilities and shareholders' equity	\$118,296	\$ 119,767	(1.2)%
Shares outstanding at end of period (000)	424,380	442,445	(4.1)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 668	\$ 581	15.1%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	70	28	
Hedge costs related to foreign currency investments	(49)	(1)	
Impact of other derivative/hedging activities	39	56	
Other and non-recurring income (loss)	2	39	
Net earnings	\$ 730	\$ 703	3.9%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.56	\$ 1.29	20.9%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.17	.07	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.12)	–	
Impact of other derivative/hedging activities	.09	.12	
Other and non-recurring income (loss)	.01	.09	
Net earnings per diluted share	\$ 1.71	\$ 1.57	8.9%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31,	<u>2015</u>	<u>2014</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,670	\$ 2,797	(4.5)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	97	119	
Hedge costs related to foreign currency investments	(88)	(24)	
Impact of other derivative/hedging activities	27	16	
Other and non-recurring income (loss)	(173)	43	
Net earnings	\$ 2,533	\$ 2,951	(14.2)%
Operating earnings per diluted share	\$ 6.16	\$ 6.16	–
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.23	.26	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.20)	(.05)	
Impact of other derivative/hedging activities	.06	.03	
Other and non-recurring income (loss)	(.40)	.10	
Net earnings per diluted share	\$ 5.85	\$ 6.50	(10.0)%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2015	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes²</u>
Premium income	(2.1)%	2.4%
Net investment income	(2.0)	.4
Total benefits and expenses	(5.7)	(1.5)
Operating earnings	15.1	19.1
Operating earnings per diluted share	20.9	24.8

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

TWELVE MONTHS ENDED DECEMBER 31, 2015	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(7.9)%	1.6%
Net investment income	(5.6)	(.1)
Total benefits and expenses	(8.2)	1.1
Operating earnings	(4.5)	2.5
Operating earnings per diluted share	–	7.5

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2016 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2015</u>	<u>Yen Impact</u>
110	\$ 6.49 - 6.73	5.4 - 9.3%	\$.32
115	6.34 - 6.58	2.9 - 6.8	.17
120.99*	6.17 - 6.41	.2 - 4.1	-
125	6.07 - 6.31	(1.5) - 2.4	(.10)
130	5.95 - 6.19	(3.4) - .5	(.22)

*Actual 2015 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; concentration of business in Japan; decline in creditworthiness of other financial institutions; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; ineffective risk management policies and procedures; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; ongoing changes in our industry; events that damage our reputation; increased expenses for pension and other postretirement plans; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###